

大学番号：私121

注3

[平成25年度設置]

計画の区分：学部の設置

注1

届出

東洋大学 食環境科学部 食環境科学科 フードサイエンス専攻

東洋大学 食環境科学部 食環境科学科 スポーツ・食品機能専攻

東洋大学 食環境科学部 健康栄養学科

注2

【届出】設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人東洋大学
平成27年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名 板倉事務課

職名・氏名 課長 吉田 邦子

電話番号 0276-82-9110

（夜間） 0276-82-9111

F A X 0276-82-9801

e-mail yoshida_k@toyo.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には設置時の旧名称を記載し、その下欄に（ ）書きにて、現在の名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部

(□□学部(平成◇◇年度より変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」

・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」

・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」

・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」

・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

※「留意事項実施状況報告書」の場合は、表題を修正してください。

3 大学番号の欄については、平成27年3月30日付事務連絡「大学等の設置に係る設置計画履行状況報告書等の提出について(依頼)」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

目次

食環境科学部

<食環境科学科・健康栄養学科>

ページ

1. 調査対象大学等の概要等	1~6
2. 授業科目の概要	7~24
3. 施設・設備の整備状況、経費	25
4. 既設大学等の状況	26~31
5. 教員組織の状況	32~55
6. 留意事項等に対する履行状況等	56
7. その他全般的事項	57~58

別紙 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

学校法人東洋大学

(2) 大学名

東洋大学

(3) 大学の位置

(〒112-8606 東京都文京区白山5-28-20)
〒374-0193 群馬県邑楽郡板倉町泉野1-1-1

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(フクカワ シンジ) 福川伸次 (平成24年12月)		
学長	(タケムラ マキオ) 竹村牧男 (平成21年9月)		
学部長	(ハヤシ キヨシ) 林清 (平成25年4月)		
学科長 (食環境科学科)	(フクモリ フミヤス) 福森文康 (平成25年4月)		
学科長 (健康栄養学科)	(ツジ ヒロミ) 辻ひろみ (平成25年4月)		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 平成25年度に報告済の内容 → (25)

平成27年度に報告する内容 → (27)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください（入試区分ごとではありません）。
- ・ 様式は、平成24年度開設の4年制の学科の場合（平成27年度までの4年間）ですが、開設年度・修業年限に合わせて作成してください。（修業年限が3年以下の場合には欄を削除し、5年以上の場合には、欄を設けてください。）

(5) - ① 調査対象学部等の名称、定員

調査対象学部等の名称（学位）	設置時の計画				備考
	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
食環境科学部 食環境科学科 フードサイエンス専攻 学士（食環境科学）	4年	70人	年次 0人	280人	
食環境科学部 食環境科学科 スポーツ・食品機能専攻 学士（食環境科学）	4年	50人	年次 0人	200人	
食環境科学部 健康栄養学科 学士（健康栄養学）	4年	100人	年次 0人	400人	

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を（ ）書きで記入してください。
- ・ 学生募集停止を予定している場合は、「備考」にその旨記載してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	対象年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平均入学定員 超過率	開設年度から 提出年度までの 平均入学定員 超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期			
A 入学定員	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	1.17倍	-	食環境科学部 食環境科学科 フードサイエンス 専攻
志願者数	() []	() []	819 []	() []	525 []	() []	810 []	() []	() []	() []			
受験者数	() []	() []	795 []	() []	508 []	() []	791 []	() []	() []	() []			
合格者数	() []	() []	221 []	() []	209 []	() []	362 []	() []	() []	() []			
B 入学者数	() []	() []	83 []	() []	83 []	() []	83 []	() []	() []	() []			
入学定員超過率 B/A			1.18		1.18		1.17						
A 入学定員	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	1.16倍	-	食環境科学部 食環境科学科 スポーツ・食品機能 専攻
志願者数	() []	() []	320 []	() []	393 []	() []	446 []	() []	() []	() []			
受験者数	() []	() []	303 []	() []	381 []	() []	433 []	() []	() []	() []			
合格者数	() []	() []	150 []	() []	157 []	() []	219 []	() []	() []	() []			
B 入学者数	() []	() []	58 []	() []	59 []	() []	58 []	() []	() []	() []			
入学定員超過率 B/A			1.16		1.18		1.16						

A 入学定員	() []	() []	100人 (-) [-]	() []	() []	100人 (-) [-]	() []	() []	100人 (-) [-]	() []	() []
志願者数	() []	() []	825 (-) [-]	() []	() []	673 (-) [-]	() []	() []	725 (-) [-]	() []	() []
受験者数	() []	() []	794 (-) [-]	() []	() []	634 (-) [-]	() []	() []	688 (-) [-]	() []	() []
合格者数	() []	() []	206 (-) [-]	() []	() []	188 (-) [-]	() []	() []	277 (-) [-]	() []	() []
B 入学者数	() []	() []	100 (-) [-]	() []	() []	100 (-) [-]	() []	() []	98 (-) [-]	() []	() []
入学定員超過率 B/A			1.00			1.00			0.98		

0.99倍

-

食環境科
学部
健康栄養
学科

- (注) ・ 数字は、平成27年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ ()内には、編入学の状況について**外数**で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、(())書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ []内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「入学定員超過率」については、**各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出**してください。なお、計算の際は**小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入**してください。
 - ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお、**計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。**
 - ・ 「開設年度から提出年度までの平均入学定員超過率」は、完成年度を越えて報告書を提出する大学（「改善意見等対応状況報告書」を提出する大学）のみ記入してください。「設置計画履行状況等報告書」の場合は「-」を記入してください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学 年	平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1 年次	/	/	[-] (-) 83	[] ()	[-] (-) 83	[] ()	[-] (-) 83	[] ()	食環境科学部 食環境科学科 フードサイエンス専攻 平成27年度1年次春季入学の うち、1名は再入学者 (27)
2 年次	/	/	/	/	[-] (-) 82	[] ()	[-] (-) 83	[] ()	
3 年次	/	/	/	/	/	/	[-] (-) 79	[] ()	
4 年次	/	/	/	/	/	/	/	/	
計	/	/	[-] (-) 83	[] ()	[-] (-) 165	[] ()	[-] (-) 245	[] ()	
1 年次	/	/	[-] (-) 58	[] ()	[-] (-) 59	[] ()	[-] (-) 58	[] ()	食環境科学部 食環境科学科 スポーツ・食品機能専攻
2 年次	/	/	/	/	[-] (-) 57	[] ()	[-] (-) 58	[] ()	
3 年次	/	/	/	/	/	/	[-] (-) 57	[] ()	
4 年次	/	/	/	/	/	/	/	/	
計	/	/	[-] (-) 58	[] ()	[-] (-) 116	[] ()	[-] (-) 173	[] ()	
1 年次	/	/	[-] (-) 100	[] ()	[-] (-) 100	[] ()	[-] (-) 98	[] ()	食環境科学部 健康栄養学科
2 年次	/	/	/	/	[-] (-) 99	[] ()	[-] (-) 100	[] ()	
3 年次	/	/	/	/	/	/	[-] (-) 98	[] ()	
4 年次	/	/	/	/	/	/	/	/	
計	/	/	[-] (-) 100	[] ()	[-] (-) 199	[] ()	[-] (-) 296	[] ()	

- (注) ・ 数字は、平成27年5月1日現在の数字を記入してください。
 ・ [] 内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。
 ・ () 内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。

(5) - ④ 調査対象学部等の退学者等の状況

学科等	区分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に 対する退学者数 の割合 (a/b)
				退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		
食環境科学部 食環境科学科 フード・サイエンス専攻	平成25年度 入学者	83 人	3 人	平成25年度	2 人	0 人	就学意欲の低下(1人)、除籍(1人)	0.0 %
				平成26年度	1 人	0 人	除籍(1人)	
				平成27年度	0 人	0 人		
	平成26年度 入学者	83 人	1 人	平成26年度	1 人	0 人	除籍(1人)	0.0 %
				平成27年度	0 人	0 人		
	平成27年度 入学者	83 人	0 人	平成27年度	0 人	0 人		0.0 %
	合 計	249 人	4 人					0.0 %
食環境科学部 食環境科学科 スナック・食品機能専攻	平成25年度 入学者	58 人	1 人	平成25年度	1 人	0 人	就学意欲の低下(1人)	0.0 %
				平成26年度	0 人	0 人		
				平成27年度	0 人	0 人		
	平成26年度 入学者	59 人	1 人	平成26年度	1 人	0 人	その他(1人)	0.0 %
				平成27年度	0 人	0 人		
	平成27年度 入学者	58 人	0 人	平成27年度	0 人	0 人		0.0 %
	合 計	175 人	2 人					0.0 %
食環境科学部 健康栄養学科	平成25年度 入学者	100 人	2 人	平成25年度	1 人	0 人	就学意欲の低下(1人)	0.0 %
				平成26年度	1 人	0 人	学生個人の心身に関する事情(1人)	
				平成27年度	0 人	0 人		
	平成26年度 入学者	100 人	0 人	平成26年度	0 人	0 人		0.0 %
				平成27年度	0 人	0 人		
	平成27年度 入学者	98 人	0 人	平成27年度	0 人	0 人		0.0 %
	合 計	298 人	2 人					0.0 %

(注)・数字は、平成27年5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各年度の入学人数については、該当年度当初に入学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- ・各年度の退学者数については、退学年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- ・短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
- ・「入学人数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度の入学者のうち、平成27年5月1日現在までに退学した学生数の合計】を、【当該対象年度の入学人数】で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
 ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

2 授業科目の概要

食環境科学部 食環境科学科 フードサイエンス専攻

(1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数				専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	教	准教授	講師	助教	助手				
基盤教育科目	哲学・思想	井上門と東洋大学	1・2・3・4	前	2							兼1	教育効果を考慮し、開講学期を前学期に変更(25)	
		生命論	1・2・3・4	後	2		1					兼1		
		生命倫理	1・2・3・4	前後	2							兼1		
		生命哲学	1・2・3・4	後	2							兼1		
		哲学入門	1・2・3・4	前	2							兼1		
	自然・環境・生命	スポーツ哲学	1・2・3・4	前	2							兼1	新規専任教員を採用したため担当者変更(26) 担当:吉崎 貴大(助教) 授業運営上の理由により、担当者追加(27)	
		現代生物学	1・2・3・4	後	2							兼1		
		現代化学	1・2・3・4	前	2		1					兼1		
		現代物理	1・2・3・4	前	2		1					兼1		
		科学技術論	1・2・3・4	後	2							兼1		
		情報処理基礎	1・2・3・4	前	2		1					兼1		
		情報処理演習	1・2・3・4	後	2		1					兼1		
		生命科学史	1・2・3・4	後	2							兼1		
		ライフサイエンス基礎Ⅰ	1	前	1					1		兼1		
		ライフサイエンス基礎Ⅱ	1	後	1					1		兼1		
	日本と世界の文化・歴史	ライフサイエンス基礎Ⅲ	1	後	1							兼1	少人数教育実施のため専任教員採用(25) 担当:大上安奈(助教) 時間割再編成に伴い、担当者変更(26) 担当:吉崎 貴大(助教)	
		数学の世界	1・2・3・4	前	2							兼1		
		異文化コミュニケーション	1・2・3・4	前	2							兼1		
		文化人類学入門	1・2・3・4	前後	2							兼1		
	現代・社会	中国語で学ぶ「中国食文化」	1・2・3・4	前	2							兼1	開講期間変更のため(27)	
		欧米の文学と文化	1・2・3・4	前後	2							兼1		
		経済学入門	1・2・3・4	前・後	2		1					兼1	教育効果を考慮し、開講学期を前・後学期に変更(25)	
		人文地理学入門	1・2・3・4	後	2							兼1		
		政治学入門	1・2・3・4	後	2							兼1		
		日本国憲法	1・2・3・4	前	2							兼1		
		社会学入門	1・2・3・4	後	2							兼1		
		法学入門	1・2・3・4	後	2							兼1		
		心理学	1・2・3・4	前	2							兼1		
		異文化と社会事情	1・2・3・4 1-2-3-4	前	2							兼1		
		ソーシャルサーベイ概論	1・2・3・4 1-2-3-4	前	2							兼1		
		産官学連携概論	1・2・3・4	後	2							兼1		
		スポーツ社会学	1・2・3・4	前	2							兼1		
	スポーツと健康	スポーツと健康Ⅰ	1・2・3・4	前	2		4	1				兼1		専任教員の就任辞退による担当者変更(25) 時間割再編成に伴い担当者変更(26) 授業運営上の調整による担当者変更(25) 時間割再編成に伴う担当者追加(26) 開講コース増に伴う担当者追加(27)
		スポーツと健康Ⅱ	1・2・3・4	後	2			4	1			兼1		
		スポーツの理論と実際ⅠA(テニス)	1・2・3・4	前・後	1							兼1		
		スポーツの理論と実際ⅠB(バドミントン)	1・2・3・4	前後	1							兼1		
		スポーツの理論と実際ⅡA(サッカー)	1・2・3・4	前	1							兼1		
		スポーツの理論と実際ⅡB(バスケ)	1・2・3・4	後	1			1				兼1		
		スポーツの理論と実際Ⅲ(陸上)	1・2・3・4	前	1							兼1		
		スポーツの理論と実際Ⅳ(水泳)	1・2・3・4	後	1							兼1		
		スポーツの理論と実際Ⅴ(武道)	1・2・3・4	前	1		4					兼1		
		スポーツの理論と実際Ⅵ(器械運動)	1・2・3・4	後	1							兼1		

基礎教育科目	共通教養科目	総合 I	1・2・3・4	前		2							兼 3 2	行'17 対面講義コース開講に伴う担当者追加 (27)		
		総合 II	1・2・3・4	後		2							兼 4 2 1	行'17 開講コース増に伴う担当者追加 (25) 対面講義コース開講に伴う担当者追加 (27)		
		レポート記述法	1・2・3・4	後		2		4					兼 1 2	オムニバス 教育効果を考慮し、単独教員による授業に変更 (25)		
	文化間コミュニケーション	英語 I	1	前	1									兼 4 4	少人数教育実施のため担当者追加 (27)	
		英語 II	1	後	1									兼 4 4	少人数教育実施のため担当者追加 (27)	
		英語コミュニケーション I	1	前	1									兼 4 2 1	開講コース増に伴う担当者追加 (26) 少人数教育実施のため担当者追加 (27)	
		英語コミュニケーション II	1	後	1									兼 2 1	開講コース増に伴う担当者追加 (26)	
		TOEIC演習	2	前・後	1									兼 2 1	開講コース増に伴う担当者追加 (27)	
		英語スピーチ&プレゼンテーション	2	前・後	1									兼 2 1	開講コース増に伴う担当者追加 (26)	
		イングリッシュ・プラクティス	2	前・後	1					1				兼 4	英語教育の充実のため専任教員を採用 (26) 担当：ウマ マスリ ラ'ヤゴ'バン (助教)	
		英語上級 I	2	前	1									兼 1 2 4	開講コース増に伴う担当者追加 (26) 担当教員の開講数調整のため、担当教員人数を変更 (27)	
		英語上級 II	2	後	1									兼 1		
		中国語 I	1・2・3・4	前	1									兼 1		
		中国語 II	1・2・3・4	後	1									兼 1		
		ハンガル I	1・2・3・4	前	1									兼 1		
		ハンガル II	1・2・3・4	後	1									兼 1		
		フランス語 I	1・2・3・4	前	1									兼 1		
		フランス語 II	1・2・3・4	後	1									兼 1		
		スペイン語 I	1・2・3・4	前	1									兼 1		
		スペイン語 II	1・2・3・4	後	1									兼 1		
	Extensive Reading in SYDNEY	未開講 1・2・3・4	前→後	1									兼 1	前学期聴講者なしにより未開講 (25) 聴講者なしのため未開講 (26) (27)		
	Field Trips in SYDNEY	未開講 1・2・3・4	前→後	1									兼 1	前学期聴講者なしにより未開講 (25) 聴講者なしのため未開講 (26) (27)		
	社会科学基礎	キャリアデザイン I	1	前		2		1								
		キャリアデザイン II	2	前		2		4		1					新規専任教員を採用したため担当者変更 (26) 担当：吉崎 貴大 (助教)	
	留学支援科目	教英語科目特別	Special Course in Advanced TOEFL I	1・2・3・4	後		2							兼 1		
			Special Course in Advanced TOEFL II	1・2・3・4 未開講 1・2・3・4	前		2							兼 1	学習段階を考慮しH25年度は未開講 (25) 年次進行により開講 (26)	
		日本語科目	Integrated Japanese I	未開講 1・2・3・4	前		5								兼 1	聴講対象者なしのため未開講 (25) (26) (27)
			Integrated Japanese II	未開講 1・2・3・4	後		5								兼 1	聴講対象者なしのため未開講 (25) (26) (27)
			Japanese Reading and Composition I	未開講 1・2・3・4	前		2								兼 1	聴講対象者なしのため未開講 (25) (26) (27)
			Japanese Reading and Composition II	未開講 1・2・3・4	後		2								兼 1	聴講対象者なしのため未開講 (25) (26) (27)
			Kanji Literacy I	未開講 1・2・3・4	前		1								兼 1	聴講対象者なしのため未開講 (25) (26) (27)
			Kanji Literacy II	未開講 1・2・3・4	後		1								兼 1	聴講対象者なしのため未開講 (25) (26) (27)
			Project Work I	未開講 1・2・3・4	前		1								兼 1	聴講対象者なしのため未開講 (25) (26) (27)
Project Work II			未開講 1・2・3・4	後		1								兼 1	聴講対象者なしのため未開講 (25) (26) (27)	
Japanese Listening Comprehension I			未開講 1・2・3・4	前		1								兼 1	聴講対象者なしのため未開講 (25) (26) (27)	
Japanese Listening Comprehension II			未開講 1・2・3・4	後		1								兼 1	聴講対象者なしのため未開講 (25) (26) (27)	
Japanese Culture I			未開講 1・2・3・4	前		1								兼 1	聴講対象者なしのため未開講 (25) (26) (27)	
Japanese Culture II			未開講 1・2・3・4	後		1								兼 1	聴講対象者なしのため未開講 (25) (26) (27)	

専 門 科 目	必 修	基礎化学	1	前	2			1					兼 1 実験運営上の理由により、兼任講師を追加 (26) 担当教員の開講数調整のため、担当教員人数を変更 (27) 専攻における重要性を考慮し選択必修から必修に区分変更 (25) 身分昇格のため (27) 専攻における重要性を考慮し選択必修から必修に区分変更 (26) 身分昇格のため (25) 担当：佐藤順 (教授) 実験運営上の理由により、担当教員を追加 (26) 担当教員の開講数調整のため、担当教員人数を変更 (27) 専攻における重要性を考慮し選択必修から必修に区分変更 (26) 少人数教育実施のため担当者追加および身分昇格 (27) 身分昇格のため (27) 身分昇格のため (27)	
		化学実験	1	前	2			1 2						
		基礎微生物学	1	後	2				1					
		生物学	1	後	2				1					
		フードサイエンスの化学	1	後	2	2			1					
		生物学実験	2	前	3				2					
		基礎生化学	2	前	2				1					
		有機化学 II	2	前	2	2			1	+				
		基礎細胞生物学	2	前	2	2			1					
		フードサイエンス実験 I	2	後	3				2 3 2 4		1			
		基礎栄養学	2	後	2				1					
		植物バイオテクノロジー概論	2	後	2	2			1					
		分子生物学概論	2	後	2	2			1					
		生命科学英語 I	2	後	2				6 5	1 2		1		
		フードサイエンス実験 II	3	前	3				2 +	+				
	食品衛生学	3	前	2				1	+					
	食品微生物利用学	3	前	2					1					
	食品技術者と倫理	3	後	2					1					
	生命科学英語 II	3	前	2				4	2					
	食環境科学論 I	4	前	2				9	4					
	卒業研究	4	前	2				9	4					
	卒業論文	4	後	2				9	4					
	選 択 必 修	基 礎 科 学	基礎生物学	1	前		2		1					兼 1 専攻における重要性を考慮し選択必修から必修に区分変更 (25) 新規専任教員を採用したため担当者変更 (26) 担当：吉崎 貴大 (助教) 履修内容に即した科目名称に変更 (25) 専攻における重要性を考慮し選択必修から必修に区分変更 (26) 専攻における重要性を考慮し選択から選択必修へ科目区分変更 (26) 教育効果を考慮し、開講学期を前・後学期に変更 (27) 専攻における重要性を考慮し選択必修から必修に区分変更 (26) 専攻における重要性を考慮し選択必修から必修に区分変更 (26) 身分昇格のため (27) 開講期間変更のため (27) 開講期間変更のため (27) 身分昇格のため (27)
			物理 I	1	前		2		2		1			
			生物統計学	1	後		2				1			
			フードサイエンスの化学	4	後		2			4				
			機器分析	2	前		2				1			
食品分析学概論			2	前		2				1				
フーズスペシャリスト特別講義			2	前		2				+		1		
有機化学 II 食品有機化学			2	前		2				+				
地学 II			2	前		2				1				
植物生理学			2	前		2								
食品流通経済論			2	前・後		2				1				
公衆衛生学			2	前		2								
植物バイオテクノロジー概論	2	後		2				4						
食品科学特別講義	2	後		2				1						
分子生物学概論	2	後		2				4						
食品バイオテクノロジー	3	前		2				1						
食品官能評価概論	3	前		2				1						
生物資源利用学	3	前		2				1						
応用栄養学	3	前		2					1					
食品微生物制御学	3	後		2				1	+					
食品添加物概論	3	前後		2				1						
応用酵素学	3	後		2				1						
実務研修	3	後		2				1						
生体高分子化学	3	前後		2				1						
知的財産所有権法	3	後		2										
食品加工貯蔵学	3	後		2				1	+					
食環境科学論 II	4	後		2				9	4					

専 門 必 修	選 択 科 学	人体の構造と機能	1	前	2			1	兼 1	より科目に適合した専任教員へ担当者変更 (26)
		地学 I	1	後	2	1			兼 1	専攻における重要度から選択必修へ科目区分変更 (25)
		物理 II	1	後	2	1			兼 1	専攻における重要度から選択必修へ科目区分変更 (25)
		物理実験	1	後	2	1	1		兼 1	専攻における重要度から選択必修へ科目区分変更 (25)
		無機化学	1	後	2				兼 1	専攻における重要度から選択必修へ科目区分変更 (25)
		有機化学 I 有機化学	1	後	2				兼 1	履修内容に即した科目名称に変更し、専攻における重要度から選択より選択必修へ科目区分変更 (25)
		環境修復学	1	後	2				兼 1	専攻における重要度から選択必修へ科目区分変更 (25)
		食育論	1	前	2			1	兼 1	
		フードコーディネート論	1	後	2				兼 1	
		食品学概論	2	前	2			1	兼 1	
		基礎細胞生物学	2	前	2			4	兼 1	専攻における重要性を考慮し選択必修から必修に区分変更 (26)
		調理科学実習	2	前	2			1	兼 1	
		フードエンジニアリング	2	前	2			1	兼 1	
		食品物性論	2	前	2			1	兼 1	
		食品品質管理学	2	前	2			1	兼 1	
		動物生理学	2	後	2				兼 1	専攻における重要性を考慮し選択から選択必修へ科目区分変更 (26)
		物理化学	2	後	2				兼 1	
		微生物生理学	2	後	2				兼 1	
		地学概論 (実験を含む)	2	後	2				兼 1	※実験 専攻における重要性を考慮し選択から選択必修へ科目区分変更 (26)
		生物有機化学	2	後	2				兼 1	専攻における重要性を考慮し選択から選択必修へ科目区分変更 (26)
		調理と美味しさの科学	2	後	2			1		身分昇格のため (27)
		食品化学	2	後	2			1		
		機能食品科学	3	前	2			1		
		食品安全学	3	前	2			1		身分昇格のため (27)
		プロバイオティクス	3	前	2			1		身分昇格のため (27)
		食品検査概論	3	前	2			1		
		ファイトセラピー論	3	後 前	2			1		開講期間変更のため (27)
HACCP論	3	後	2			1		身分昇格のため (27)		
予防・臨床栄養学	3	後	2			1				
選 択	専 門 選 択	スポーツと生理学	1	前	2			4	兼 1	専任教員の就任辞退による担当者変更 (25)
		エコシステム学	1	前	2				兼 1	
		微分積分学	1	前	2				兼 1	
		地学 I	4	後	2			4	兼 1	専攻における重要度から選択必修へ科目区分変更 (25)
		物理 II	4	後	2			4	兼 1	専攻における重要度から選択必修へ科目区分変更 (25)
		物理実験	4	後	2			4	兼 1	専攻における重要度から選択必修へ科目区分変更 (25)
		無機化学	4	後	2				兼 1	専攻における重要度から選択必修へ科目区分変更 (25)
		有機化学 I 有機化学	4	後	2				兼 1	履修内容に即した科目名称に変更し、専攻における重要度から選択より選択必修へ科目区分変更 (25)
		スポーツと栄養学	1	後	2				兼 1	
		解析学	1	後	2				兼 1	
		環境修復学	4	後	2				兼 1	専攻における重要度から選択必修へ科目区分変更 (25)
		地学 II	2	前	2			4	兼 1	専攻における重要性を考慮し選択から選択必修へ科目区分変更 (26)
		味とニオイの科学	2	前	2				兼 1	
		ゲノム科学	2	前	2				兼 1	
		微生物利用学	2	前	2				兼 1	
		植物生理学	2	前	2				兼 1	専攻における重要性を考慮し選択から選択必修へ科目区分変更 (26)
		動物生理学	2	後	2				兼 1	
		物理化学	2	後	2				兼 1	
		微生物生理学	2	後	2				兼 1	
		地学概論 (実験を含む)	2	後	2				兼 1	※実験 専攻における重要性を考慮し選択から選択必修へ科目区分変更 (26)
地域産業論	2	後	2			1		兼 1		
生物有機化学	2	後	2				兼 1	専攻における重要性を考慮し選択から選択必修へ科目区分変更 (26)		
植物育種学	3	前	2				兼 1			

専門科目	選択	遺伝子工学	3	前	2						兼1	教育効果を考慮し、開講学期を前・後学期に変更(27) 集中授業運営上の理由から、開講形態を変更(27)
		スパイスの科学	3	前	2						兼1	
		マーケティング入門	3	前・後 前	2	1						
		化粧品化学	3	前	2						兼1	
		微生物生態学	3	前	2						兼1	
		スポーツと医学	3	前	2						兼1	
		ソムリエ講座	3	前	2						兼1	
		感染症学	3	後	2						兼1	
		環境分析化学	3	後	2						兼1	
		バイオマス	3	後	2						兼1	
		タンパク質工学	3	後	2						兼1	
バイオエネルギー	3	後	2						兼1			

- (注)
- ・ 認可申請書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 設置認可時の授業科目全て(兼任、兼担教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時(平成27年度に認可された大学等は設置認可時)より変更されているものは赤字見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
なお、昨年度の報告書において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 兼任、兼担の教員が担当する授業科目については、備考欄に担当する教員数を「兼〇」と記入してください。
 - ・ 授業科目を追加又は内容を変更する場合は、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては、「専任教員採用等設置計画変更書」の審査予定年月等を「備考」に記入してください。(今後審査を受ける場合には、「平成〇年〇月 提出予定」と記入してください。)
 - ・ 「配当年次」について、設置認可申請時に開講時期を記入する必要がなかった学部等(平成19年度認可以前)についても、設置認可時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え消し修正をしてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	
21	154	0	175	26 -2-2	149 -15-3	0	175	科目区分を変更したため(26)
				[5] +	[Δ5] Δ+	[]	[]	

- (注)
- ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[]内に、届出時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：Δ1)
 - ・ 資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由、代替措置の有無
1	Special Course in Advanced TOEFL II	2	1・2・3・4	一般	選択	Special Course in Advanced TOEFL I (前年度秋学期開講) より連続して行う授業であり、Special Course in Advanced TOEFL I の履修者がいないことから、Special Course in Advanced TOEFL II の履修者もいないため未開講。代替なし。
2	スポーツの理論と実際 II A (サッカー)	1	1・2・3・4	一般	選択	適任者が見つからなかったため休講。代替措置なし。
3	スポーツの理論と実際 III (陸上)	1	1・2・3・4	一般	選択	適任者が見つからなかったため休講。代替措置なし。

- (注) ・ 設置時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。
 ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由、代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
 ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

「Special Course in Advanced TOEFL II」は学習段階を考慮した制度上、今年度は対象者がいないので問題ない。該当分野の教員に代わる適任の人物を探すのが困難であったため、休講とした。なお、後任人事のため公募中である。学生への周知については、全学生へ配布する時間割表で行っており、当科目は選択科目であるため他の選択肢もあることから学生への影響は少ない。(27)

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計}} = 0.01$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位までを記入してください。

2 授業科目の概要

食環境科学部 食環境科学科 スポーツ・食品機能専攻

(1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年度	単位数				専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	教	准教授	講師	助教	助手				
基礎教育科目	哲学・思想	井上円とと東洋大学	1・2・3・4	前	2							兼1	教育効果を考慮し、開講学期を前学期に変更(25)	
		生命論	1・2・3・4	後	2		1					兼1		
		生命倫理	1・2・3・4	前後	2							兼1		
		生命哲学	1・2・3・4	後	2							兼1		
		哲学入門	1・2・3・4	前	2							兼1		
	スポーツ哲学	1・2・3・4	前	2							兼1			
	自然・環境・生命	現代生物学	1・2・3・4	後	2							兼1	新規専任教員を採用したため担当者変更(26) 担当:吉崎 貴大(助教) 授業運営上の理由により、担当者追加(27)	
		現代化学	1・2・3・4	前	2		1					兼1		
		現代物理	1・2・3・4	前	2		1					兼1		
		科学技術論	1・2・3・4	後	2							兼1		
		情報処理基礎	1・2・3・4	前	2		1					兼1		
		情報処理演習	1・2・3・4	後	2		1					兼1		
	ライフサイエンス基礎Ⅰ	1	前	1					1		兼1 兼4	少人数教育実施のため専任教員採用(25) 担当:大上安奈(助教) 時間割再編成に伴い、担当者変更(26) 担当:吉崎 貴大(助教)		
	ライフサイエンス基礎Ⅱ	1	後	1					1		兼4			
	ライフサイエンス基礎Ⅲ	1	後	1							兼1			
	日本・世界の文化・歴史	異文化コミュニケーション	1・2・3・4	前	2							兼1	開講期間変更のため(27)	
		文化人類学入門	1・2・3・4	前後	2							兼1		
		中国語で学ぶ「中国食文化」	1・2・3・4	前	2							兼1		
		欧米の文学と文化	1・2・3・4	前後	2							兼1		
	現代・社会	経済学入門	1・2・3・4	前・後	2		1					兼1	教育効果を考慮し、開講学期を前・後学期に変更(25)	
		人文地理学入門	1・2・3・4	後	2							兼1		
		政治学入門	1・2・3・4	後	2							兼1		
		日本国憲法	1・2・3・4	前	2							兼1		
		社会学入門	1・2・3・4	後	2							兼1		
		法学入門	1・2・3・4	後	2							兼1		
		心理学	1・2・3・4	前	2							兼1		
		異文化と社会事情	1・2・3・4 1・2・3・4	前	2							兼1		兼任講師委嘱辞退により休講(26) 後任補充により開講(27)
		ソーシャルサーベイ概論	1・2・3・4 1・2・3・4	前	2							兼1		
		産官学連携概論	1・2・3・4	後	2							兼1		
		スポーツ社会学	1・2・3・4	前	2							兼1		
	スポーツと健康	スポーツと健康Ⅰ	1・2・3・4	前	2		4	1				兼4	専任教員の就任辞退による担当者変更(25) 時間割再編成に伴い担当者変更(26) 授業運営上の調整による担当者変更(25) 時間割再編成に伴う担当者追加(26) 開講コース増に伴う担当者追加(27)	
		スポーツと健康Ⅱ	1・2・3・4	後	2			4	1			兼4 兼4		
		スポーツの理論と実際ⅠA(テニス)	1・2・3・4	前・後	1							兼1	履修者増の対応のため、学期を前・後学期に変更(25)	
		スポーツの理論と実際ⅠB(バレーボール)	1・2・3・4	前後	1							兼1		
		スポーツの理論と実際ⅡA(サッカー)	1・2・3・4	前	1							兼1	兼任講師委嘱辞退により休講(26) 適任者が見つからなかったため、再募集中(27)	
		スポーツの理論と実際ⅡB(バドミントン)	1・2・3・4	後	1			1				兼1		
		スポーツの理論と実際Ⅲ(陸上)	1・2・3・4	前	1							兼1	兼任講師委嘱辞退により休講(26) 適任者が見つからなかったため、再募集中(27)	
		スポーツの理論と実際Ⅳ(水泳)	1・2・3・4	後	1							兼2 兼4		
		スポーツの理論と実際Ⅴ(武道)	1・2・3・4	前	1		4					兼1	集中 専任教員の就任辞退による担当者および開講形態の変更(25)	
		スポーツの理論と実際Ⅵ(器械運動)	1・2・3・4	後	1							兼1		

基盤教育科目	共通教養科目	総合	総合 I	1・2・3・4	前		2								兼 3 2	行'17 対面講義コース開講に伴う担当者追加 (27)	
			総合 II	1・2・3・4	後		2								兼 4 2 1	行'17 開講コース増に伴う担当者追加 (25) 対面講義コース開講に伴う担当者追加 (27)	
			レポート記述法	1・2・3・4	後		2		4						兼 1 2	オムニバス 教育効果を考慮し、単独教員による授業に変更 (25)	
	文化間コミュニケーション	英語 I	1	前	1										兼 4 4	少人数教育実施のため担当者追加 (27)	
		英語 II	1	後	1										兼 4 4	少人数教育実施のため担当者追加 (27)	
		英語コミュニケーション I	1	前	1										兼 4 2 1	開講コース増に伴う担当者追加 (26) 少人数教育実施のため担当者追加 (27)	
		英語コミュニケーション II	1	後	1										兼 2 4	開講コース増に伴う担当者追加 (26)	
		TOEIC演習	2	前・後	1										兼 2 4	開講コース増に伴う担当者追加 (27)	
		英語スピーチ&プレゼンテーション	2	前・後	1										兼 2 4	開講コース増に伴う担当者追加 (26)	
		イングリッシュ・プラクティス	2	前・後	1					1					兼 4	英語教育の充実のため専任教員を採用 (26) 担当：ママ マスリ ラジャバラン (助教)	
		英語上級 I	2	前	1										兼 1 2 4	開講コース増に伴う担当者追加 (26) 担当教員の開講数調整のため、担当教員人数を変更 (27)	
		英語上級 II	2	後	1										兼 1		
		中国語 I	1・2・3・4	前後	1										兼 1		
		中国語 II	1・2・3・4	前後	1										兼 1		
		ハングル I	1・2・3・4	前後	1										兼 1		
		ハングル II	1・2・3・4	前後	1										兼 1		
		フランス語 I	1・2・3・4	前後	1										兼 1		
		フランス語 II	1・2・3・4	前後	1										兼 1		
		スペイン語 I	1・2・3・4	前後	1										兼 1		
	スペイン語 II	1・2・3・4	後	1										兼 1			
	Extensive Reading in SYDNEY	未開講 1・2・3・4	前→後	1										兼 1	前学期聴講者なしにより未開講 (25) 聴講者なしのため未開講 (26) (27)		
	Field Trips in SYDNEY	未開講 1・2・3・4	前→後	1										兼 1	前学期聴講者なしにより未開講 (25) 聴講者なしのため未開講 (26) (27)		
	社会人基礎	キャリアデザイン I	1	前		2			1								
		キャリアデザイン II	2	前		2			4			1				新規専任教員を採用したため担当者変更 (26) 担当：吉崎 貴大 (助教)	
	留学支援科目	英語科目別	Special Course in Advanced TOEFL I	1・2・3・4	後		2								兼 1		
			Special Course in Advanced TOEFL II	1・2・3・4 未開講 1・2・3・4	前		2								兼 1	学習段階を考慮しH25年度は未開講 (25) 年次進行により開講 (26)	
		日本語科目	Integrated Japanese I	未開講 1・2・3・4	前		5									兼 1	聴講対象者なしのため未開講 (25) (26) (27)
			Integrated Japanese II	未開講 1・2・3・4	後		5									兼 1	聴講対象者なしのため未開講 (25) (26) (27)
			Japanese Reading and Composition I	未開講 1・2・3・4	前		2									兼 1	聴講対象者なしのため未開講 (25) (26) (27)
			Japanese Reading and Composition II	未開講 1・2・3・4	後		2									兼 1	聴講対象者なしのため未開講 (25) (26) (27)
			Kanji Literacy I	未開講 1・2・3・4	前		1									兼 1	聴講対象者なしのため未開講 (25) (26) (27)
			Kanji Literacy II	未開講 1・2・3・4	後		1									兼 1	聴講対象者なしのため未開講 (25) (26) (27)
			Project Work I	未開講 1・2・3・4	前		1									兼 1	聴講対象者なしのため未開講 (25) (26) (27)
Project Work II			未開講 1・2・3・4	後		1									兼 1	聴講対象者なしのため未開講 (25) (26) (27)	
Japanese Listening Comprehension I			未開講 1・2・3・4	前		1									兼 1	聴講対象者なしのため未開講 (25) (26) (27)	
Japanese Listening Comprehension II			未開講 1・2・3・4	後		1									兼 1	聴講対象者なしのため未開講 (25) (26) (27)	
Japanese Culture I			未開講 1・2・3・4	前		1									兼 1	聴講対象者なしのため未開講 (25) (26) (27)	
Japanese Culture II			未開講 1・2・3・4	後		1									兼 1	聴講対象者なしのため未開講 (25) (26) (27)	

専門科目	必修	基礎化学 I 基礎化学	1	前	2			1																	履修内容に即した科目名称に変更 (25)								
		化学実験	1	前	2 3			1 2																	兼 1	誤記入による単位数変更 (25) 実験運営上の理由により、兼任講師を追加 (26) 担当教員の開講数調整のため、担当教員人数を変更 (27)							
		基礎微生物学	1	後	2				1																								
		生物学	1	後	2				1																								
		人体の構造と機能 I	1	前	2					1																兼 1	新規専任教員を採用したため担当者変更 (26) 平成25年度履行状況時記載漏れ						
		人体の構造と機能II	1	後	2						1															兼 1							
		物理実験	1	後	2	2				1	1																専攻における重要度から選択より必修へ科目区分変更 (25)						
		基礎生化学	2	前	2					1																							
		生物学実験	2	前	3	3				2																		専攻における重要性を考慮し選択から必修に区分変更 (26)					
		フードサイエンス実験 I	2	後	3					2 3 2 4		4																身分昇格のため (25) 担当：佐藤順 (教授) 実験運営上の理由により、担当教員を追加 (26) 担当教員の開講数調整のため、担当教員人数を変更 (27)					
		基礎栄養学	2	後	2					1																							
		生命科学英語 I	2	後	2					6 5	1 2		1															兼 1	少人数教育実施のため担当者追加および身分昇格 (27)				
		公衆衛生学	2	前	2																												
		運動生理学I	2	前	2					4			1															専任教員の就任辞退による後任補充 (26) 担当：大上 安奈 (講師)					
	運動生理学II	2	後	2					4			1																					
	生理生化学I	3	前	2					4			1																					
	生理生化学II	3	後	2					4			1																					
	食品衛生学	3	前	2					1	4																		身分昇格のため (27)					
	食品技術者と倫理	4	後	2					1																								
	応用栄養学	4	前	2								1																					
	選択必修	基礎	物理 I	1	前		2			1																							
			物理 II	1	後		2				1																						
			運動学	1	前		2			4																			兼 1	専攻における重要度から選択必修へ科目区分変更 (25)			
			精神保健I	1	前		2				1																						
			基礎生物学	1	前		2				1																						
			精神保健II	1	後		2					1																					
基礎化学 II フードサイエンスの化学			1	後		2				1																			履修内容に即した科目名称に変更 (25)				
地学 I			1	後		2				1																			専攻における重要度から選択より選択必修へ科目区分変更 (25)				
無機化学			1	後		2																								兼 1	専攻における重要度から選択より選択必修へ科目区分変更 (25)		
有機化学 I 有機化学			1	後		2																								兼 1	履修内容に即した科目名称に変更し、専攻における重要度から選択より選択必修へ科目区分変更 (25)		
科学		生物統計学	1	後		2						1																					
		フーズスペシャリスト特別講義	2	前		2					4																				新規専任教員を採用したため担当者変更 (26) 担当：吉崎 貴大 (助教)		
		食品流通経済論	2	前・後 前		2				1																					兼 1	教育効果を考慮し、開講学期を前・後学期に変更 (27)	
		地学 II	2	前		2				1																					専攻における重要性を考慮し選択から選択必修へ科目区分変更 (26)		
		食品分析学概論	2	前		2				1																							
		有機化学 II 食品有機化学	2	前		2				1	4																				兼 1	履修内容に即した科目名称に変更 (25) 身分昇格のため (27)	
		植物バイオテクノロジー概論	2	後		2				1																							
		食品科学特別講義	2	後		2				1																							
		生物有機化学	2	後		2																										兼 1	専攻における重要性を考慮し選択から選択必修へ科目区分変更 (26)
		分子生物学概論	2	後		2				1																							
学	食品バイオテクノロジー	3	前		2				1																								
	食品官能評価概論	3	前		2				1																								
	実務研修	3	後		2				1																								
	食品加工貯蔵学	3	後		2				1	4																							
	食品微生物制御学	3	後		2				1	4																							
	食環境科学輪講 I	4	前		2				9	4																							
	食環境科学輪講 II	4	後		2				9	4																							

専 門 必 修 学 科	選 択 科 目	食育論	1	前	2		1					兼 1	専任教員の就任辞退による担当者変更 (25)		
		スポーツと生理学	1	前	2		4					兼 1			
		フードコーディネータ論	1	後	2							兼 1			
		スポーツと栄養学	1	後	2							兼 1			
		食品学概論	2	前	2			1				兼 1	専攻における重要性を考慮し 選択から選択必修へ科目区分 変更 (26)		
		植物生理学	2	前	2							兼 1			
		食品品質管理学	2	前	2			1				兼 1			
		基礎細胞生物学	2	前	2			1				兼 1			
		小児保健	2	後	2					1		兼 1			
		有機化学Ⅲ	2	後	2			1		↓		兼 1	履修内容に即した科目名称に 変更 (25) 身分昇格のため (27)		
		食品化学	2	後	2			1		↓		兼 1	※実験 専攻における重要性から選択 必修へ科目区分変更 (26)		
		地学概論(実験を含む)	2	後	2							兼 1			
		動物生理学	2	後	2							兼 1	専攻における重要性を 考慮し選択から選択必 修へ科目区分変更 (26)		
		微生物生理学	2	後	2						兼 1				
		物理化学	2	後	2						兼 1				
		スポーツ心理学	3	後 前	2					1		兼 1	開講期間変更のため (27)		
		フードサイエンス実験Ⅱ	3	前	3			2 ↓		↓		兼 1	身分昇格のため (27)		
		食品検査概論	3	前	2			1				兼 1			
		機能食品科学	3	前	2			1		↓		兼 1	身分昇格のため (27)		
		食品安全学	3	前	2			1		↓		兼 1	身分昇格のため (27)		
		スポーツと医学	3	前	2							兼 1	集中 授業運営上の理由から、開講 形態を変更 (27)		
		発達病態生理学	3	前 後	2					1		兼 1	教育効果を考慮し、専任教員 の配置および開講学期の変更 (27)		
		HACCP論	3	後	2			1		↓		兼 1	身分昇格のため (27)		
		専 門 選 択 科 目	選 択 科 目	微分積分学	1	前	2						兼 1		
				地学Ⅰ	4	後	2		4				兼 1	専攻における重要性から選択 必修へ科目区分変更 (25)	
				物理Ⅱ	4	後	2		4				兼 1	専攻における重要性から選択 必修へ科目区分変更 (25)	
				物理実験	4	後	2		4		↓		兼 1	専攻における重要性から必修 へ科目区分変更 (25)	
				無機化学	4	後	2						兼 1	専攻における重要性から選択 必修へ科目区分変更 (25)	
				有機化学Ⅰ	4	後	2						兼 1	履修内容に即した科目名称に 変更し、専攻における重要度 から選択必修へ科目区分変更 (25)	
				有機化学	4	後	2						兼 1		
				スポーツ救急法演習	1	後	2			4		1		兼 1	専任教員の就任辞退による担 当者変更 (25)
				地学Ⅱ	2	前	2			4				兼 1	専攻における重要性を考慮し 選択から選択必修へ科目区分 変更 (26)
				味とニオイの科学	2	前	2							兼 1	
植物育種学	3 2			前	2							兼 1	誤記入による配当年次変更 (26)		
生物学実験	2			前	3			2				兼 1	専攻における重要性を考慮し 選択から必修へ科目区分変更 (26)		
機器分析	2			前	2					1		兼 1			
調理科学実習	2			前	2					1		兼 1			
フードエンジニアリング	2			前	2			1				兼 1			
食品物性論	2			前	2			1				兼 1			
微生物利用学	2			前	2							兼 1	専攻における重要性を 考慮し選択から選択必 修へ科目区分変更 (26)		
動物生理学	2			後	2							兼 1			
物理化学	2			後	2							兼 1			
微生物生理学	2			後	2							兼 1			
地学概論(実験を含む)	2			後	2							兼 1	※実験 専攻における重要性を考慮し 選択から選択必修へ科目区分 変更 (26)		
地域産業論	2			後	2					1		兼 1			
分子生物学概論	2			後	2			4				兼 1	専攻における重要性を考慮し 選択から選択必修へ科目区分 変更 (26)		
調理と美味しさの科学	2			後	2					1		兼 1			
遺伝子工学	3			前	2							兼 1			
スパイスの科学	3			前	2							兼 1			
マーケティング入門	3			前・後 前	2					1		兼 1	教育効果を考慮し、開講学期 を前・後学期に変更 (27)		
生物有機化学	2			後	2							兼 1	専攻における重要性を考慮し 選択から選択必修へ科目区分 変更 (26)		
化粧品化学	3			前	2							兼 1			
生命科学英語Ⅱ	3			前	2			4		2		兼 1			
ファイトセラピー論	3			後 前	2					1		兼 1	開講期間変更のため (27)		
プロバイオティクス	3			前	2					1		兼 1			

専門科目	選択	生物資源利用学	3	前	2	1							専任教員の就任辞退による 後任補充 (26) 担当：大上 安奈 (講師)	
		運動生理学実習	3	前	1	4	1							
		微生物生態学	3	前	2					兼 1				
		食品微生物利用学	3	前	2		1			兼 1				
		ソムリエ講座	3	前	2					兼 1				
		感染症学	3	後	2									
		予防・臨床栄養学	3	後	2	1								
		食品添加物概論	3	後	2	1								
		応用酵素学	3	後	2	1								
		生体高分子化学	3	前後	2	1								開講期間変更のため (27)
		知的財産所有権法	3	後	2					兼 1				
		環境分析化学	3	後	2					兼 1				
		植物生理学	2	前	2					兼 4				専攻における重要性を考慮し 選択から選択必修へ科目区分 変更 (26)
		タンパク質工学	3	後	2					兼 1				
		卒業研究	4	前	2		9	4						
卒業論文	4	後	2		9	4								

- (注) ・ 認可申請書の様式第2号 (その2の1) に準じて作成してください。
- ・ 設置認可時の授業科目全て (兼任、兼任教員が担当する科目を含む。) を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時 (平成27年度に認可された大学等は設置認可時) より変更されているものは赤字見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
 - ・ なお、昨年度の報告書において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 兼任、兼任の教員が担当する授業科目については、備考欄に担当する教員数を「兼〇」と記入してください。
 - ・ 授業科目を追加又は内容を変更する場合で、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては、「専任教員採用等設置計画変更書」の審査予定年月等を「備考」に記入してください。(今後審査を受ける場合には、「平成〇年〇月 提出予定」と記入してください。)
 - ・ 「配当年次」について、設置認可申請時に開講時期を記入する必要がなかった学部等 (平成19年度認可以前) についても、設置認可時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え消し修正をしてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	
22	160	0	182	24 23	158 159	0	182	科目区分を変更したため (26)
				[2] +	[Δ2] Δ+	[]	[]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[] 内に、届出時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：Δ1)
- ・ 資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由、代替措置の有無
1	Special Course in Advanced TOEFL II	2	1・2・3・4	一般	選択	Special Course in Advanced TOEFL I (前年度秋学期開講) より連続して行う授業であり、Special Course in Advanced TOEFL I の履修者がいないことから、Special Course in Advanced TOEFL II の履修者もいないため未開講。代替なし。
2	スポーツの理論と実際 II A (サッカー)	1	1・2・3・4	一般	選択	適任者が見つからなかったため休講。代替措置なし。
3	スポーツの理論と実際 III (陸上)	1	1・2・3・4	一般	選択	適任者が見つからなかったため休講。代替措置なし。

- (注) ・ 設置時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。
 ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由、代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
 ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

「Special Course in Advanced TOEFL II」は学習段階を考慮した制度上、今年度は対象者がいないので問題ない。該当分野の教員に代わる適任の人物を探すのが困難であったため、休講とした。なお、後任人事のため公募中である。学生への周知については、全学生へ配布する時間割表で行っており、当科目は選択科目であるため他の選択肢もあることから学生への影響は少ない。(27)

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計}} = 0.01$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位までを記入してください。

2 授業科目の概要

食環境科学部 健康栄養学科

(1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数				専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	教	准教授	講師	助教	助手				
基盤教育科目	哲学・思想	井上円了と東洋大学	1・2・3・4	前	2								兼 1	教育効果を考慮し、開講学期を前学期に変更 (25) 教育効果を高めるため専任教員を配置 (26) 担当：西牟田 守 (教授)
		生命論	1・2・3・4	後	2								兼 1	
		生命倫理	1・2・3・4	前後	2		1						兼 4	
		生命哲学	1・2・3・4	後	2								兼 1	
		哲学入門	1・2・3・4	前	2								兼 1	
	自然・環境・生命	スポーツ哲学	1・2・3・4	前	2								兼 1	開講コース増に伴う担当者追加 (27)
		現代生物学	1・2・3・4	後	2								兼 1	
		現代化学	1・2・3・4	前	2								兼 1	
		現代物理	1・2・3・4	前	2								兼 1	
		科学技術論	1・2・3・4	後	2								兼 1	
		情報処理基礎	1・2・3・4	前	2								兼 2	
		情報処理演習	1・2・3・4	後	2								兼 1	
		生命科学史	1・2・3・4	後	2								兼 1	
		ライフサイエンス基礎Ⅰ	1	前	1								兼 1	
		ライフサイエンス基礎Ⅱ	1	後	1								兼 1	
	日本と世界の文化・歴史	ライフサイエンス基礎Ⅲ	1	後	1								兼 1	担当教員の業績追加による身分昇格 (25) 開講期間変更のため (27) 開講期間変更のため (27) 時間割再編成に伴う担当者変更 (27)
		数学の世界	1・2・3・4	前	2								兼 1	
		異文化コミュニケーション	1・2・3・4	前	2				+				兼 1	
		文化人類学入門	1・2・3・4	前後	2								兼 1	
	現代・社会	中国語で学ぶ「中国食文化」	1・2・3・4	前	2								兼 1	兼 1
		欧米の文学と文化	1・2・3・4	前後	2			+		+			兼 1	
		経済学入門	1・2・3・4	前・後	2								兼 1	
		人文地理学入門	1・2・3・4	後	2								兼 1	
		政治学入門	1・2・3・4	後	2								兼 1	
		日本国憲法	1・2・3・4	前	2								兼 1	
		社会学入門	1・2・3・4	後	2								兼 1	
		法学入門	1・2・3・4	後	2								兼 1	
		心理学	1・2・3・4	前	2								兼 1	
		異文化と社会事情	1・2・3・4 1・2・3・4	前	2								兼 1	
		ソーシャルサーベイ概論	1・2・3・4 1・2・3・4	前	2								兼 1	
		産官学連携概論	1・2・3・4	後	2								兼 1	
		スポーツ社会学	1・2・3・4	前	2								兼 1	
	スポーツと健康	スポーツと健康Ⅰ	1・2・3・4	前	2								兼 1	時間割再編成に伴う担当者追加 (26) 開講コース増に伴う担当者追加 (27) 履修者増の対応のため、学期を前・後学期に変更 (25) 開講期間変更のため (27) 兼任講師委嘱辞退により休講 (26) 適任者が見つからなかったため、再募集中 (27) 兼任講師委嘱辞退により休講 (26) 適任者が見つからなかったため、再募集中 (27) 兼任講師委嘱辞退により休講 (26) 適任者が見つからなかったため、再募集中 (27) 集中 朝霞キャンパスとの合同開講 (26) 朝霞キャンパスとの履修者数を鑑み担当者を追加 (27) 集中 開講形態の変更 (25)
		スポーツと健康Ⅱ	1・2・3・4	後	2								兼 5	
		スポーツの理論と実際ⅠA (テニス)	1・2・3・4	前・後	1								兼 2	
		スポーツの理論と実際ⅠB (バレーボール)	1・2・3・4	前後	1								兼 4	
		スポーツの理論と実際ⅡA (サッカー)	1・2・3・4	前	1								兼 1	
		スポーツの理論と実際ⅡB (バドミントン)	1・2・3・4	後	1								兼 1	
		スポーツの理論と実際Ⅲ (陸上)	1・2・3・4	前	1								兼 1	
		スポーツの理論と実際Ⅳ (水泳)	1・2・3・4	後	1								兼 2	
スポーツの理論と実際Ⅴ (武道)		1・2・3・4	前	1								兼 1		
スポーツの理論と実際Ⅵ (器械運動)		1・2・3・4	後	1								兼 1		

基盤教育科目	共通教養科目	総合	総合 I	1・2・3・4	前	2	1				兼 2	17 対面講義コース開講に伴う担当者追加 (27)	
			総合 II	1・2・3・4	後	2		1			兼 3 兼 2 兼 4	17 開講コース増に伴う担当者追加 (25) 対面講義コース開講に伴う担当者追加 (27)	
			レポート記述法	1・2・3・4	後	2						兼 1 兼 3	オムニバス 教育効果を考慮し、単独教員による授業に変更 (25)
	文化間コミュニケーション	英語 I	1	前	1	1	+				兼 3 兼 4	担当教員の業績追加による身分昇格 (25) 少人数教育実施のため担当者追加 (27)	
		英語 II	1	後	1	1	+				兼 3 兼 4	担当教員の業績追加による身分昇格 (25) 少人数教育実施のため担当者追加 (27)	
		英語コミュニケーション I	1	前	1						兼 4 兼 2 兼 1	開講コース増に伴う担当者追加 (26) 少人数教育実施のため担当者追加 (27)	
		英語コミュニケーション II	1	後	1						兼 3 兼 2 兼 4	開講コース増に伴う担当者追加 (26) 少人数教育実施のため担当者追加 (27)	
		TOEIC演習	2	前・後	1						兼 2 兼 4	開講コース増に伴う担当者追加 (27)	
		英語スキルアップセッション	2	前・後	1						兼 2 兼 4	開講コース増に伴う担当者追加 (26)	
		イングリッシュ・プラクティス	2	前・後	1						兼 1		
		英語上級 I	2	前	1						兼 1 兼 4	開講コース増に伴う担当者追加 (26) 担当教員の開講数調整のため、担当教員人数を変更 (27)	
		英語上級 II	2	後	1						兼 1		
		中国語 I	1・2・3・4	前	1						兼 1		
		中国語 II	1・2・3・4	後	1						兼 1		
		ハンガール I	1・2・3・4	前	1						兼 1		
		ハンガール II	1・2・3・4	後	1						兼 1		
		フランス語 I	1・2・3・4	前	1						兼 1		
		フランス語 II	1・2・3・4	後	1						兼 1		
		スペイン語 I	1・2・3・4	前	1						兼 1		
		スペイン語 II	1・2・3・4	後	1						兼 1		
	Extensive Reading in SYDNEY	未開講 1・2・3・4	前→後	1			1					前学期聴講者なしにより未開講 (25) 聴講者なしのため未開講 (26) (27)	
	Field Trips in SYDNEY	未開講 1・2・3・4	前→後	1			1					前学期聴講者なしにより未開講 (25) 聴講者なしのため未開講 (26) (27)	
	社会人基礎科目	キャリアデザイン I	1	前	2		+	1			兼 4	学科主任担当科目のため担当者変更 (25) 時間割再編成に伴う担当者変更 (27) 担当：井上 広子 (准教授)	
		キャリアデザイン II	2	前	2			+			兼 1	学部共通科目のため担当者変更 (26) 担当：吉崎 貴大 (助教)	
	留学支援科目	英語特別教	Special Course in Advanced TOEFL I	1・2・3・4	後	2					兼 1		
			Special Course in Advanced TOEFL II	1・2・3・4 未開講 1・2・3・4	前	2					兼 1	学習段階を考慮しH25年度は未開講 (25) 年次進行により開講 (26)	
		日本語科目	Integrated Japanese I	未開講 1・2・3・4	前	5						兼 1	聴講対象者なしのため未開講 (25) (26) (27)
			Integrated Japanese II	未開講 1・2・3・4	後	5						兼 1	聴講対象者なしのため未開講 (25) (26) (27)
			Japanese Reading and Composition I	未開講 1・2・3・4	前	2						兼 1	聴講対象者なしのため未開講 (25) (26) (27)
			Japanese Reading and Composition II	未開講 1・2・3・4	後	2						兼 1	聴講対象者なしのため未開講 (25) (26) (27)
			Kanji Literacy I	未開講 1・2・3・4	前	1						兼 1	聴講対象者なしのため未開講 (25) (26) (27)
			Kanji Literacy II	未開講 1・2・3・4	後	1						兼 1	聴講対象者なしのため未開講 (25) (26) (27)
			Project Work I	未開講 1・2・3・4	前	1						兼 1	聴講対象者なしのため未開講 (25) (26) (27)
Project Work II			未開講 1・2・3・4	後	1						兼 1	聴講対象者なしのため未開講 (25) (26) (27)	
Japanese Listening Comprehension I			未開講 1・2・3・4	前	1						兼 1	聴講対象者なしのため未開講 (25) (26) (27)	
Japanese Listening Comprehension II			未開講 1・2・3・4	後	1						兼 1	聴講対象者なしのため未開講 (25) (26) (27)	
Japanese Culture I			未開講 1・2・3・4	前	1						兼 1	聴講対象者なしのため未開講 (25) (26) (27)	
Japanese Culture II	未開講 1・2・3・4	後	1						兼 1	聴講対象者なしのため未開講 (25) (26) (27)			

専 門 科 目	必 修	調理学実習 I	1	前	1			1	1		1	兼 1	教育効果を高めるため専任教員を追加配置 (26) 担当：辻 ひろみ (教授)	
		基礎化学 I	1	前	2				1					
		食品分析学	1	後 前	2				1					教育効果を考慮し、開講学期を後学期に変更 (27)
		生化学	1	前	2			4	1			兼 4	専任教員の就任辞退による担当者変更 (25)	
		解剖生理学	1	前	2			4	1				専任教員の就任辞退による担当者変更 (25)	
		基礎栄養学 I	1	前	2			1						
		社会・環境と健康 I	1	後	2			4	1					専任教員の就任辞退による担当者変更 (25)
		食品学 I	1	前 後	2				1					教育効果を考慮し、開講学期を前学期に変更 (27)
		食品学実験 I	2	前	1				1				兼 1	教育効果を高めるため担当者追加 (27)
		公衆栄養学 I	2	前	2				1	4				より科目に適合した専任教員を採用 (26) 担当：佐藤 加代子 (教授)
		給食経営管理論 I	2	後	2				1					
		臨床栄養学 I	3	前	2				1					
		臨床栄養学実習 I	3	前	1				1				兼 1	教育効果を高めるため担当者追加 (27)
		栄養マネジメントの実践	3	後	2					1				
		公衆栄養学実習	3	後	1				1	4				より科目に適合した専任教員を採用 (26) 担当：佐藤 加代子 (教授)
		栄養教育論 I	3	前	2					1				
		臨床栄養学実習 II	4	前・後	1				1					
	総合演習	4	前・後	2				3 2	4					より科目に適合した専任教員を採用 (26) 担当：西牟田 守 (教授)
	選 択 必 修	基礎化学 II	1	後		2				1				
		微生物学	1	後		2				1				
		臨床検査学	1	後		2		4	1					専任教員の就任辞退による担当者変更 (25)
		基礎栄養学実験	1	後		1			1					
		解剖生理学実験	2	前		1		4	1					専任教員の就任辞退による後任補充 (26) 担当：宮越 雄一 (准教授)
		微生物学実験	2	前		1			1					
		生化学実験 I	2	前		1		1 4	1		1	兼 1	専任教員の就任辞退による後任補充 (26) 担当：宮越 雄一 (准教授) 教育効果を高めるため専任教員を追加配置 (27) 担当：近藤 和雄 (教授)	
		食品学 II	2	前		2			1					
		食品衛生学	2	前		2				1		兼 4	学生の教育効果を考慮し、専任教員を配置 (26) 担当：藤澤 誠 (准教授)	
		応用栄養学 I	2	前		2		1	4					より科目に適合した専任教員を採用 (26) 担当：西牟田 守 (教授)
		分子生物学概論	2	後 前		2					1	兼 1	教育効果を考慮し、開講学期を後学期に変更 (27)	
		社会・環境と健康 II	2	後		2				1				
食品学実験 II		2	後		1			1			兼 1	教育効果を高めるため担当者追加 (27)		
生化学実験 II	2	後		1			4	1		兼 1	専任教員の就任辞退による後任補充 (26) 担当：宮越 雄一 (准教授)			
調理科学実験	2	前 後		1				1		兼 1	教育効果を考慮し、開講学期を前学期に変更 (27)			
応用栄養学 II	2	後		2			1	4				より科目に適合した専任教員を採用 (26) 担当：西牟田 守 (教授)		
応用栄養学実習 I	2	後		1			1	4		1				
食品バイオテクノロジー	2	前 後		2						兼 1	教育効果を考慮し、開講学期を前学期に変更 (27)			
食品機能学	3	前		2			1		1					
栄養教育論 II	3	前		2				1						
給食経営管理実習	3	前		1			2 4					教育効果を高めるため専任教員を追加配置 (27) 担当：澤田 孝子 (教授)		
応用栄養学実習 II	3	前		1			1	4		1		より科目に適合した専任教員を採用 (26) 担当：西牟田 守 (教授)		
給食経営管理論 II	3	前		2			1							
食品検査概論	3	前		2						兼 1		専任教員の就任辞退による後任補充 (27) 担当：宮越 雄一 (准教授)		
社会・環境と健康 III	3	後		2			4	1						
食品衛生学実験	3	後		1				1						
食品加工学実習	3	後		1				1		兼 1		より科目に適合した専任教員を採用 (26) 担当：西牟田 守 (教授)		
スポーツ栄養学	3	後		2			1	4		兼 4		上記専任教員により開講 (27)		
臨床栄養学 II	3	後		2			1							

専 門 科 目	選 択 必 修	臨床栄養学Ⅲ	3	後																	より科目に適合した専任教員を採用 (26) 担当: 佐藤 加代子 (教授) 教育効果を考慮し、開講学期を前学期に変更 (27)			
		公衆栄養学Ⅱ	3	前後			2		1		+												教育効果を考慮し、開講学期を前学期に変更 (27)	
生体高分子化学		3	前後			2																担当の専任教員が1名いるため、支障はない。(27)		
臨地実習Ⅰ (給食の運営)		3	後			1		1														より科目に適合した専任教員を採用 (26) 担当: 西牟田 守 (教授)		
栄養教育論実習		4	前			1				1												より科目に適合した専任教員を採用 (26) 担当: 佐藤 加代子 (教授)		
臨床栄養学Ⅳ		4	前			2		1														より科目に適合した専任教員を採用 (26) 担当: 西牟田 守 (教授)		
臨地実習Ⅱ (給食経営管理論)		4	前			1		1		+														
臨地実習Ⅲ (臨床栄養学)		4	前			1		3		2		+												
臨地実習Ⅳ (公衆栄養学)	4	前			1		3		2		+													
選 択	食品機能性分析学	1	前			2																兼 1		
	運動学	1	前			2																兼 1		
	スポーツと生理学	1	前			2																兼 1		
	エコシステム学	1	前			2																兼 1		
	分子栄養学	1	後			2		1																
	調理科学	1	後			2				1														
	基礎栄養学Ⅱ	1	後			2		1																
	調理学実習Ⅱ	1	後			1		+		1				1								兼 1	教育効果を高めるため専任教員を追加配置 (25) 担当: 飯島久美子 (准教授) 担当教員の開講数調整のため、担当教員人数を変更 (27)	
	フードコーディネータ論	1	後			2																	兼 1	
	ゲノム科学	2	前			2																	兼 1	
	食品流通経済論	2	前・後			2																	兼 1	教育効果を考慮し、開講学期を前・後学期に変更 (27)
	タンパク質科学	2	前・後			2																	兼 2	学生の履修機会を考慮し、開講学期の変更および担当者追加 (27)
	フードエンジニアリング	2	前			2																	兼 1	
	運動生理学Ⅰ	2	前			2																	兼 1	
	運動生理学Ⅱ	2	後			2																	兼 1	
	動物生理学	2	後			2																	兼 1	
	生物有機化学	2	後			2																	兼 1	
	分子遺伝学	2	後			2																	兼 1	
	調理学実習Ⅲ	2	後			1				1													兼 1	
	遺伝子工学	3	前			2																	兼 1	
	学校栄養教育の基礎	3	前			2				1														
	基礎医学	3	前			2			1															
	微生物生態学	3	前			2																	兼 2	履修者数を考慮し開講コース増 (27)
	スポーツ心理学	3	後			2																	兼 1	教育効果を考慮し、開講学期を後学期に変更 (27)
	食品官能評価概論	3	前			2																	兼 1	
	食品安全学	3	前			2																	兼 1	
	学校栄養教育の実践	3	後			2					1													
	臨床医学	3	後			2			1															
	実践栄養教育論	3	後			2					1													
	実践給食経営管理論	3	後			2		1		+														より科目に適合した専任教員を配置 (27) 担当: 辻 ひろみ (教授)
	実践社会・環境と健康	3	後			2			4		1													専任教員の就任辞退による後任補充 (26) 担当: 宮越 雄一 (准教授)
	スポーツ医学	4	前			2			1															
	実践公衆栄養学	4	前			2			1															
	健康栄養学科総合演習Ⅰ	4	前			1			3															
	実践人体の構造・および疾病の成り立ち	4	前			2			1															
	実践食べ物と健康	4	前			2			1															
実践基礎栄養学	4	前			2			1														兼 1		
健康栄養学科輪講Ⅰ	4	前			2			6		5														
卒業研究	4	前			2			6		5														
健康栄養学科輪講Ⅱ	4	後			2			6		5														
卒業論文	4	後			2			6		5														
健康栄養学科総合演習Ⅱ	4	後			1			2		1														
実践応用栄養学	4	後			2			1		+													より科目に適合した専任教員を採用 (26) 担当: 西牟田 守 (教授)	
実践臨床栄養学	4	後			2			1																

- (注) ・ 認可申請書の様式第2号 (その2の1) に準じて作成してください。
- ・ 設置認可時の授業科目全て (兼任、兼任教員が担当する科目を含む。) を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時 (平成27年度に認可された大学等は設置認可時) より変更されているものは赤字見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
- なお、昨年度の報告書において赤字で見え消した部分については、見え消しそのまま黒字にしてください。
- ・ 兼任、兼任の教員が担当する授業科目については、備考欄に担当する教員数を「兼〇」と記入してください。
- ・ 授業科目を追加又は内容を変更する場合で、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては、「専任教員採用等設置計画変更書」の審査予定年月等を「備考」に記入してください。(今後審査を受ける場合には、「平成〇年〇月 提出予定」と記入してください。)
- ・ 「記当年次」について、設置認可申請時に開講時期を記入する必要がなかった学部等 (平成19年度認可以前) についても、設置認可時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え消し修正をしてください。

- ・履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	
22	158	0	180	22	158	0	180	
[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]	

- (注) ・未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[]内に、届出時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)
- ・資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1	Special Course in Advanced TOEFL II	2	1・2・3・4	一般	選択	Special Course in Advanced TOEFL I (前年度秋学期開講) より連続して行う授業であり、Special Course in Advanced TOEFL I の履修者がいないことから、Special Course in Advanced TOEFL II の履修者もないため未開講。代替なし。
2	スポーツの理論と実際 II A (サッカー)	1	1・2・3・4	一般	選択	適任者が見つからなかったため休講。代替措置なし。
3	スポーツの理論と実際 III (陸上)	1	1・2・3・4	一般	選択	適任者が見つからなかったため休講。代替措置なし。

- (注) ・ 設置時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。
 ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
 ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

「Special Course in Advanced TOEFL II」は学習段階を考慮した制度上、今年度は対象者がいないので問題ない。該当分野の教員に代わる適任の人物を探すのが困難であったため、休講とした。なお、後任人事のため公募中である。学生への周知については、全学生へ配布する時間割表で行っており、当科目は選択科目であるため他の選択肢もあることから学生への影響は少ない。(27)

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計}} = 0.01$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位までを記入してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備 考			
(1) 区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計					
校 地 等	校舎敷地	315,361.58㎡ 225-227-58㎡ 290-970-80㎡ 290-971-80㎡	0㎡	0㎡	315,361.58㎡ 225-227-58㎡ 290-970-80㎡ 290-971-80㎡	大学全体 校地の用途変更 (25) 白山第2校舎の利用停止に伴う減 (25) 朝霞土地一部売却に伴う面積変更 (27)			
	運動場用地	189,576.05㎡ 471-911-81㎡ 474-091-74㎡	0㎡	0㎡	189,576.05㎡ 471-911-81㎡ 474-091-74㎡	大学全体 朝霞土地一部売却に伴う面積変更 (26) セミナーハウス等のその他面積を組み込んだため (26)			
	小 計	504,937.63㎡ 514-803-63㎡ 762-882-61㎡	0㎡	0㎡	504,937.63㎡ 514-803-63㎡ 762-882-61㎡				
	そ の 他	303,255.36㎡ 291-164-15㎡ 0㎡	0㎡	0㎡	303,255.36㎡ 291-164-15㎡ 0㎡	大学全体 白山第2が中学校の用途となり除外 朝霞土地一部売却及び赤羽台土地購入に伴う面積変更 (27)			
	合 計	808,192.99㎡ 818-967-78㎡ 762-882-61㎡ 765-063-54㎡	0㎡	0㎡	808,192.99㎡ 818-967-78㎡ 762-882-61㎡ 765-063-54㎡				
(2) 校 舎	専 用	198,653.28㎡ 294-319-50㎡ 233-150-22㎡ 234-827-43㎡ (198,653.28㎡) (233-150-22㎡) (234-827-43㎡)	0㎡	0㎡	198,653.28㎡ 294-319-50㎡ 233-150-22㎡ 234-827-43㎡ (198,653.28㎡) (233-150-22㎡) (234-827-43㎡)	大学全体 白山第2校舎利用停止に伴う面積変更 (25) 朝霞一部売却のため減少 (26) (27)			
	共 用	(0㎡)	(0㎡)	(0㎡)					
(3) 教 室 等	講 義 室	24室 267室	演 習 室 23室 24室 86室	実験実習室 81室 80室 477室	情報処理学習施設 2室 39室 1 (補助職員50人)	語学学習施設 1室 2室 7室 (補助職員0人)	大学全体の数値として算出していたため、AC対象学部の数値に訂正 (25) 生命科学部と共用見直し修正 (26)		
	新設学部等の名称		室 数						
(4) 専任教員研究室	食環境科学部 食環境科学科		18		18 室		助教分 (27)		
	食環境科学部 健康栄養学科		14		14 室				
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等の名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕 種	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点		
	食環境科学部 食環境科学科 健康栄養学科	70,705 [8,977] 70,699 [8,863] (68,949 [9,710]) (66,912 [9,376]) (64,696 [9,113]) (60,747 [8,977])	197 [111] 197 [107] 197 [111]	25,278 [24,642] 25,731 [25,099] 25-278 [24-642]	2,620 2,497 2-572	615 508 465 449 615 598 465 (449)	0 0	生命科学部と共用 見直しによる修正 (25) (26) (27) 学術雑誌について平成25年度履行状況調査時に記載漏れ (26) 機械・器具の新規購入による増 (26) (27)	
	計	70,705 [8,977] 70,699 [8,863] (68,949 [9,710]) (66,912 [9,376]) (64,696 [9,113]) (60,747 [8,977])	197 [111] 197 [107] 197 [111]	25,278 [24,642] 25,731 [25,099] 25-278 [24-642]	2,620 2,497 2-572	615 508 465 449 615 598 465 (449)	0 0		
	(6) 図 書 館	面 積	開 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数				
	2,010㎡ 17,154-34㎡	280席 251席 250席 2-601席		75,600冊 78-150冊 1,807-150冊			大学全体の数値として算出していたため、AC対象学部の数値に訂正 (25) 障がい者支援として閲覧座席数を追加 (26) 館内一部改装による訂正 (27)		
(7) 体 育 館	面 積	体 育 館 以 外 の ス ポ ー ツ 施 設 の 概 要							
	20,002.81㎡ 20-037-66㎡ 24,950-01㎡	野 球 場 、 サ ッ カ ー 場		テ ニ ス コ ー ト 10 面 等 テ ニ ス コ ー ト 等			川越ゴミ置き場用途変更のため減少 朝霞土地売却に伴う テニスコート減少及び テニスコート新設に伴う増加 (27)		
(8) 経 費 の 見 積 り 及 び 維 持 方 法 の 概 要	区 分	開 設 年 度	完 成 年 度	区 分	開 設 前 年 度	開 設 年 度	完 成 年 度		
	経費の見積り	教員1人当り研究費等	千円 教授：694 准教授：642 講師：589	千円 教授：694 准教授：642 講師：589	図書購入費	4,727千円	1,774千円 2,692千円	9,701千円	計画修正に伴う変更 (25)
		共同研究費等	55,000千円	55,000千円	設備購入費	9,603千円 2,718千円	4,700千円 4,255千円	13,460千円	
	学生1人当り納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次		
1,550千円		1,300千円	1,300千円	1,300千円	千円	千円			
学生納付金以外の維持方法の概要		手数料収入、資産運用収入等ならびに国庫からの補助金収入によって維持を図る							

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成27年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(27)」を「備考」に赤字で記入してください。
 - ・ なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。

4 既設大学等の状況

大学の名称	東洋大学							備考		
既設学部等の名称	修業年限	入定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	開年度	所在地		
	年	人	年次人	人		倍				
大学院修士・博士前期課程 文学研究科						0.51		東京都文京区		
哲学専攻	2	5	—	10	修士(文学)	0.90	昭和27年度	白山5丁目28番20号	平成26年4月から国文学専攻より名称変更	
インド哲学仏教学専攻	2	4	—	8	修士(文学)	1.00	昭和27年度			
日本文学文化専攻	2	10	—	20	修士(文学)	0.85	昭和27年度			
中国哲学専攻	2	4	—	8	修士(文学)	0.75	昭和29年度			
英文学専攻	2	5	—	10	修士(文学)	0.20	昭和31年度			
史学専攻	2	6	—	12	修士(文学)	0.74	昭和42年度			
教育学専攻	2	20	—	40	修士(文学)	0.12	平成6年度			
英語コミュニケーション専攻	2	10	—	20	修士(英語コミュニケーション)	0.50	平成16年度			
社会学研究科						0.47				
社会学専攻	2	10	—	20	修士(社会学)	0.45	昭和34年度			
福祉社会システム専攻	2	—	—	—	修士(社会学)	—	平成8年度			平成18年度より学生募集停止
社会心理学専攻	2	12	—	24	修士(社会心理学)	0.49	平成16年度			
法学研究科						0.87				
私法学専攻	2	10	—	20	修士(法学)	0.60	昭和39年度			
公法学専攻	2	10	—	20	修士(法学)	1.15	昭和51年度			
経営学研究科						0.87				
経営学専攻	2	10	—	20	修士(経営学)	0.75	昭和47年度			
ビジネス・会計 ファイナンス専攻	2	20	—	40	修士(経営学)	1.00	平成18年度			
マーケティング専攻	2	10	—	20	修士(マーケティング)	0.75	平成22年度			
理工学研究科						0.83				
生体医工学専攻	2	18	—	36	修士(理工学)	0.96	平成26年度	埼玉県川越市大字 鯨井字中野台2100番地		
応用化学専攻	2	12	—	24	修士(理工学)	0.74	平成26年度			
機能システム専攻	2	15	—	30	修士(理工学)	0.53	平成26年度			
電気電子情報専攻	2	11	—	22	修士(理工学)	0.85	平成26年度			
都市環境デザイン専攻	2	8	—	16	修士(工学)	0.49	平成26年度			
建築学専攻	2	14	—	28	修士(工学)	1.24	平成26年度			

工学研究科						—			
機能システム専攻	2	—	—	—	修士 (工学)	—	平成17 年度		平成26年度より学生募 集停止
バイオ・応用化学専攻	2	—	—	—	修士 (工学)	—	平成17 年度		平成26年度より学生募 集停止
環境・デザイン専攻	2	—	—	—	修士 (工学)	—	平成17 年度		平成26年度より学生募 集停止
情報システム専攻	2	—	—	—	修士 (工学)	—	平成17 年度		平成26年度より学生募 集停止
経済学研究科						0.62			
経済学専攻	2	10	—	20	修士 (経済学)	0.70	昭和51 年度	東京都文京区白山 5丁目28番20号	
公民連携専攻	2	30	—	60	修士 (経済学)	0.59	平成18 年度	東京都文京区白山 5丁目28番20号 東京都千代田区 大手町2丁目2番1号	
国際地域学研究科						0.84			
国際地域学専攻	2	15	—	30	修士 (国際地 域学)	0.73	平成13 年度		
国際観光学専攻	2	10	—	20	修士 (国際観 光学)	1.00	平成17 年度		
生命科学研究科						1.22			
生命科学専攻	2	20	—	40	修士 (生命科 学)	1.22	平成13 年度	群馬県邑楽郡板 倉町泉野1丁目1 番1号	
福祉社会デザイン研究科						0.40			
社会福祉学専攻	2	20	—	40	修士(社 会福祉 学)又は 修士(ソ ーシャル ワーク)	0.32	平成18 年度	東京都文京区白 山5丁目28番20号	
福祉社会システム専攻	2	20	—	40	修士(社 会学)又 は修士 (社会福 祉学)	0.12	平成18 年度		
ヒューマンデザイン専攻	2	20	—	40	修士(社 会福祉 学)又は 修士(健 康デザイ ン学)	0.62	平成18 年度	埼玉県朝霞市岡 48番1号	
人間環境デザイン専攻	2	10	—	20	修士(人 間環境デ ザイン学)	0.65	平成21 年度		
学際・融合科学研究科						0.87			
バイオ・ナノサイエンス融合専攻	2	12	—	24	修士(バ イオ・ナ ノサイエ ンス融合)	0.87	平成23 年度	埼玉県川越市大字 鯨井字中野台2100番地	
大学院博士後期課程						0.45			
文学研究科						1.22			
哲学専攻	3	3	—	9	博士 (文学)	1.22	昭和43 年度	東京都文京区白山 5丁目28番20号	
インド哲学仏教学専攻	3	3	—	9	博士 (文学)	0.66	昭和29 年度		
日本文学文化専攻	3	3	—	9	博士 (文学)	0.55	昭和29 年度		平成26年4月から国文学専攻よ り名称変更
中国哲学専攻	3	3	—	9	博士 (文学)	0.44	平成11 年度		
英文学専攻	3	3	—	9	博士 (文学)	0.11	昭和39 年度		
史学専攻	3	3	—	9	博士 (文学)	0.44	平成11 年度		
教育学専攻	3	4	—	12	博士 (文学)	0.41	平成11 年度		
英語コミュニケーション専攻	3	5	—	15	博士 (英語コミ ニケーション)	0.06	平成19 年度		

社会学研究科						0.54			
社会学専攻	3	3	—	9	博士(社会学)	0.88	昭和34年度		
社会心理学専攻	3	5	—	15	博士(社会心理学)	0.33	平成18年度		
法学研究科						0.06			
私法学専攻	3	5	—	15	博士(法学)	0.06	昭和41年度		
公法学専攻	3	5	—	15	博士(法学)	0.06	平成12年度		
経営学研究科						0.15			
経営学専攻	3	5	—	15	博士(経営学)	0.13	平成11年度		
ビジネス・会計 ファイナンス専攻	3	5	—	15	博士(経営学)または博士(会計・ファイナンス)	0.20	平成22年度		
マーケティング専攻	3	3	—	9	博士(マーケティング)	0.11	平成24年度		
理工学研究科						0.13			
生体医工学専攻	3	3	—	6	博士(理工学)	0.16	平成26年度	埼玉県川越市大字 鯨井字中野台2100番地	
応用化学専攻	3	3	—	6	博士(理工学)	0.00	平成26年度		
機能システム専攻	3	3	—	6	博士(理工学)	0.00	平成26年度		
電気電子情報専攻	3	3	—	6	博士(理工学)	0.33	平成26年度		
建築・都市デザイン専攻	3	3	—	6	博士(工学)	0.16	平成26年度		
工学研究科						—			
機能システム専攻	3	—	—	—	博士(工学)	—	平成17年度		平成26年度より学生募集停止
バイオ・応用化学専攻	3	—	—	—	博士(工学)	—	平成17年度		平成26年度より学生募集停止
環境・デザイン専攻	3	—	—	—	博士(工学)	—	平成17年度		平成26年度より学生募集停止
情報システム専攻	3	—	—	—	博士(工学)	—	平成17年度		平成26年度より学生募集停止
経済学研究科						0.44			
経済学専攻	3	3	—	9	博士(経済学)	0.44	昭和53年度	東京都文京区白山 5丁目28番20号	
国際地域学研究科						0.63			
国際地域学専攻	3	5	—	15	博士(国際地域学)	0.86	平成15年度		
国際観光学専攻	3	3	—	9	博士(国際観光学)	0.44	平成23年度		
生命科学研究科						0.50			
生命科学専攻	3	4	—	12	博士(生命科学)	0.50	平成15年度	群馬県邑楽郡板倉町泉野1丁目1番1号	
福祉社会デザイン研究科						0.66			
社会福祉学専攻	3	5	—	15	博士(社会福祉学)又は博士(ソーシャルワーク)	1.06	平成18年度	東京都文京区白山5丁目28番20号	
ヒューマンデザイン専攻	3	5	—	15	博士(社会福祉学)又は博士(健康デザイン学)	0.60	平成18年度	埼玉県朝霞市岡48番1号	

人間環境デザイン専攻	3	4	—	12	博士 (人間環境デザイン学)	0.25	平成21年度		
学際・融合科学研究科						0.58			
バイオ・ナノサイエンス融合専攻	3	4	—	12	博士(バイオ・ナノサイエンス融合)	0.58	平成19年度	埼玉県川越市大字 鯨井字中野台2100番地	
専門職大学院 法務研究科 法務専攻(法科大学院)	3	20	—	80	法務博士 (専門職)	0.25 0.25	平成16年度	東京都文京区白山 5丁目28番20号	平成26年度より入学定員変更 (40→20)
文学部 第1部						1.17		東京都文京区 白山5丁目28番20号	
哲学科	4	100	—	350	学士 (文学)	1.19	昭和24年度		平成25年度より入学定員変更(50→100)
東洋思想文化学科	4	100	—	300	学士 (文学)	1.22	平成25年度		
インド哲学科	4	—	—	—	学士 (文学)	—	昭和24年度		平成25年度より学生募集停止
中国哲学文学科	4	—	—	—	学士 (文学)	—	昭和24年度		平成25年度より学生募集停止
日本文学文化学科	4	200	—	770	学士 (文学)	1.18	平成12年度		平成27年度より入学定員変更(190→200)
英米文学科	4	133	—	493	学士 (文学)	1.17	昭和24年度		平成27年度より入学定員変更(120→133)
英語コミュニケーション学科	4	100	—	400	学士 (文学)	1.18	平成12年度		
史学科	4	133	—	463	学士 (文学)	1.16	昭和24年度		平成27年度より入学定員変更(110→133)
教育学科						1.08	昭和39年度		
人間発達専攻	4	100	—	280	学士 (教育学)	1.17	平成20年度		平成27年度より入学定員変更(60→100)
初等教育専攻	4	50	—	200	学士 (教育学)	0.98	平成20年度		
経済学部 第1部						1.17			
経済学科	4	250	—	940	学士 (経済学)	1.19	昭和25年度		平成27年度より入学定員変更(230→250)
国際経済学科	4	183	—	708	学士 (経済学)	1.16	平成12年度		平成27年度より入学定員変更(175→183)
総合政策学科	4	183	—	693	学士 (経済学)	1.16	平成12年度		平成27年度より入学定員変更(170→183)
経営学部 第1部						1.17			
経営学科	4	316	—	1246	学士 (経営学)	1.18	昭和41年度		平成27年度より入学定員変更(310→316)
マーケティング学科	4	150	—	600	学士 (経営学)	1.20	昭和41年度		
会計ファイナンス学科	4	216	—	846	学士 (経営学)	1.15	平成18年度		平成27年度より入学定員変更(210→216)
法学部 第1部						1.18			
法律学科	4	250	—	1000	学士 (法学)	1.18	昭和31年度		
企業法学科	4	250	—	1000	学士 (法学)	1.18	昭和40年度		
社会学部 第1部						1.16			
社会学科	4	150	—	480	学士 (社会学)	1.15	昭和34年度		平成27年度より入学定員変更(110→150)

社会文化システム学科	4	150	—	480	学士 (社会学)	1.17	平成12 年度	埼玉県川越市 鯨井2100	平成27年度より入学定 員変更(110→150)
メディアコミュニケーション学科	4	150	—	480	学士 (社会学)	1.15	平成12 年度		平成27年度より入学定 員変更(110→150)
社会心理学科	4	150	—	480	学士 (社会学)	1.15	平成12 年度		平成27年度より入学定 員変更(110→150)
社会福祉学科	4	150	—	480	学士 (社会学)	1.16	平成4 年度		平成27年度より入学定 員変更(110→150)
理工学部						1.13			
機械工学科	4	180	—	630	学士 (理工学)	1.15	昭和36 年度		平成27年度より入学定 員変更(150→180)
生体医工学科	4	113	—	413	学士 (理工学)	1.16	平成21 年度		平成27年度より入学定 員変更(100→113)
電気電子情報工学科	4	113	—	443	学士 (理工学)	1.10	昭和36 年度		平成27年度より入学定 員変更(110→113)
応用化学科	4	146	—	506	学士 (理工学)	1.11	昭和36 年度		平成27年度より入学定 員変更(120→146)
都市環境デザイン学科	4	113	—	393	学士 (工学)	1.14	昭和37 年度		平成25年度より入学定員変更 (80→100) 平成27年度より入学定員変更 (100→113)
建築学科	4	146	—	566	学士 (工学)	1.15	昭和37 年度	平成27年度より入学定 員変更(140→146)	
工学部						—			
情報工学科	4	—	—	—	学士 (工学)	—	昭和51 年度	平成21年度より学生募 集停止	
コンピュータショナル工学科	4	—	—	—	学士 (工学)	—	平成13 年度	平成21年度より学生募 集停止	
機能ロボティクス学科	4	—	—	—	学士 (工学)	—	平成17 年度	平成21年度より学生募 集停止	
国際地域学部						1.15		東京都文京区 白山5丁目28番20号	
国際地域学科						1.12	平成9 年度		
国際地域専攻	4	180	—	540	学士 (国際地域 学)	1.19	平成22 年度		
地域総合専攻	4	110	—	330	学士 (国際地域 学)	1.01	平成22 年度		
国際観光学科	4	200	—	800	学士 (国際地域 学)	1.19	平成13 年度		
生命科学部						1.14		群馬県邑楽郡板倉町 泉野1丁目1番1 号	
生命科学科	4	113	—	413	学士 (生命科学)	1.15	平成9 年度		平成27年度より入学定 員変更(100→113)
応用生物科学科	4	113	—	413	学士 (生命科学)	1.14	平成21 年度	平成27年度より入学定 員変更(100→113)	
食環境科学科	4	—	—	—	学士 (生命科学)	—	平成21 年度	平成25年度より学生募 集停止	
ライフデザイン学部						1.12		埼玉県朝霞市 岡48-1	
生活支援学科						1.08	平成17 年度		
生活支援学専攻	4	116	—	416	学士 (生活支援 学)	1.16	平成21 年度		平成27年度より入学定 員変更(100→116)
子ども支援学専攻	4	100	—	400	学士 (生活支援 学)	1.00	平成21 年度		
健康スポーツ学科	4	180	—	630	学士 (健康スポーツ学)	1.16	平成17 年度	平成27年度より入学定 員変更(150→180)	
人間環境デザイン学科	4	160	—	610	学士 (人間環境デザイ ン学)	1.16	平成18 年度	平成27年度より入学定 員変更(150→160)	

総合情報学部						1.15		埼玉県川越市	平成25年度より学生募集停止
総合情報学科	4	260	—	1040	学士 (情報学)	1.15	平成21年度	鯨井2100	
食環境科学部						1.09		群馬県邑楽郡板倉町	
食環境科学科						1.17	平成25年度	泉野1丁目1番1号	
フードサイエンス専攻	4	70	—	210	学士 (食環境科学)	1.17	平成25年度		
スポーツ・食品機能専攻	4	50	—	150	学士 (食環境科学)	1.16	平成25年度		
健康栄養学科	4	100	—	300	学士 (健康栄養学)	0.99	平成25年度		
文学部 第2部						1.02		東京都文京区	
東洋思想文化学科	4	30	—	90	学士 (文学)	1.02	平成25年度	白山5丁目28番20号	
インド哲学科	4	—	—	—	学士 (文学)	—	昭和31年度		
日本文学文化学科	4	80	—	320	学士 (文学)	1.02	昭和27年度		
教育学科	4	40	—	160	学士 (教育学)	1.02	昭和39年度		
経済学部 第2部						1.05			
経済学科	4	150	—	600	学士 (経済学)	1.05	昭和32年度		
経営学部 第2部						1.01			
経営学科	4	110	—	440	学士 (経営学)	1.01	昭和41年度		
法学部 第2部						1.04			
法律学科	4	120	—	480	学士 (法学)	1.04	昭和31年度		
社会学部 第2部						0.94			
社会学科	4	130	—	520	学士 (社会学)	1.01	昭和34年度		
社会福祉学科	4	45	3年次 10	200	学士 (社会学)	0.75	平成13年度		
通信教育部						0.04			
文学部						0.04			
日本文学文化学科	4	1000	—	4000	学士 (文学)	0.04	昭和39年度		
法学部						0.01			
法律学科	4	1000	—	4000	学士 (法学)	0.01	昭和41年度		

(注)・本調査の対象となっている大学等の設置者(学校法人等)が設置している全ての大学(学部, 学科), 大学院(専攻)及び短期大学(学科)(AC対象学部等含む)について, それぞれの学校種ごとに, 平成27年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。

・学部の学科または研究科の専攻等, 「入学定員を定めている組織」ごとに記入してください。

※「入学定員を定めている組織ごと」には, 課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。

※なお, 課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は, 法令上規定されている組織上の最小単位(大学であれば「学科」, 短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。

・専攻科に係るものについては, 記入する必要はありません。

・AC対象学部等についても必ず記入してください。

・「平均入学定員超過率」には, 標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点以下第2位まで(小数点以下第3位を切り捨て)を記入してください。

・学生募集を停止している学部等がある場合, 入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は「一」とし, 「備考」に「平成〇〇年より学生募集停止」と記入してください。

6 留意事項等に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項 等	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画	
設 置 時 (25年4月)	届出設置のため該当なし			
設置計画履行状況 調 査 時 (26年2月)	該当なし			
設置計画履行状況 調 査 時 (27年2月)	○ 食環境科学部健康 栄養学科において、定 年規程に定める退職年 齢を超える専任教員数 の割合が比較的高いこ とから、定年規程の趣 旨を踏まえた適切な運 用に努めるとともに、 教員組織編制の将来構 想について検討するこ と。	改善意見	管理栄養士養成の経験が豊 富で、多くの実績を有する 教員を優先的に採用する必 要があったため、比較的年 齢が高い専任教員を、特例 として採用しているが、27 年4月に、教授（40歳代）お よび准教授（30歳代）が着 任したことで、教員年齢構 成は一定程度改善されてい る。（27）	該当なし

- (注) ・ 「設置時」には、当該大学等の設置時に付された留意事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を（ ）書きで付記してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された意見に対する履行状況等について、具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
 - ・ 定員管理に係る留意事項への履行状況は、指摘を受けた学科等についてのみ記入してください。
 - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。

7 その他全般的事項

<食環境科学部 食環境科学科・健康栄養学科>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
特になし	

- (注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの(未実施を含む。)及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
 ・ 設置時の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し、それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。(記入例参照)

(2) 教員の資質の維持向上の方策(FD活動含む)

<p>① 実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況</p> <p>FD活動に関しては、平成19年4月より、東洋大学FD推進センター及びFD推進委員会を設置している。東洋大学FD推進センター長には副学長を充て、FD推進委員会はセンター長を委員長として、各学部・各研究科から1名の委員を選出して構成されている。同委員会内には、研修部会、大学院部会、教育改善対策部会、編集部会、授業評価手法検討部会の5部会を置き、積極的なFD活動を実施している。</p> <p>また、平成27年4月よりセンター規程を改正し、職員を構成員に含め、教職協働によるFD活動を推進していくことと、従来より活動を行ってきた学生FDスタッフを「学生FDチーム」としてセンター直属の組織とし、学生の参画を得ることを規程上でも明確にした。</p> <p>b 委員会の開催状況(教員の参加状況含む)</p> <p>FD推進委員会は、毎年、年6回程度開催しており、規程上、委員の3分の2以上の出席をもって委員会は成立することとしている。また、委員会内の各部会についても、必要に応じてそれぞれ年3回程度開催している。</p> <p>c 委員会の審議事項等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 委員会の年次活動計画について ・ 部会の設置と各委員の配属について ・ 各種FD企画の開催について ・ 規程の改正について 等 <p>② 実施状況</p> <p>a 実施内容</p> <p>b 実施方法</p> <p>c 開催状況(教員の参加状況含む)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「ティーチング・アシスタントFD研修会」 <ul style="list-style-type: none"> ・ 講演及びワークショップ形式 ・ 平成26年4月19日開催 参加者110名 ○ 「新任教員FD研修会」 <ul style="list-style-type: none"> ・ 講演及びワークショップ形式 ・ 平成26年7月5日開催 参加者33名 ○ 「教育改善シンポジウム」 <ul style="list-style-type: none"> ・ 講演形式 ・ 平成26年7月19日開催 参加者27名 ○ 「一般教員FD研修会」 <ul style="list-style-type: none"> ・ 講演形式 ・ 平成26年12月10日開催 参加者35名 ○ 「英語で授業を行うためのFD研修会」 <ul style="list-style-type: none"> ・ 講演形式及びワークショップ形式 ・ 平成27年3月16日開催 参加者14名(定員制) <p>※その他、全学カリキュラム委員会との共催により、全4回の講演会(「カリキュラムデザインを考える」「カリキュラム・マップ作成に向けたワークショップ」「グローバル化に向けた科目ナンバリング作成について」「柔軟なアカデミックカレンダーを考える」)を開催。</p> <p>d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況</p> <p>いずれの研修会も、直接的に各学部、研究科の教育改善、授業改善に資する取り組みである。また各学部、研究科では、さらに独自のFD活動を展開し、それらをFD推進委員会で共有するとともに、毎年、各学部、研究科ごとにFD活動状況報告書を作成し「東洋大学FD推進センター活動報告書」として製本、配付している。また平成27年度からは、報告書の中から特に優れた取り組みを数件選び、次年度の「学部FD活動状況報告会」において学部長から報告してもらうことで、全学で共有することとしている。</p>

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

平成25年度より全学共通のフォーマットによる授業評価アンケートを実施している。全学部で、専任教員は最低2科目、非常勤講師は最低1科目以上を実施することとし、実施時期については、春学期は6月～7月、秋学期は12月～1月に実施期間を1ヶ月程度設けて行っている。

実施した結果については、FD推進センターにて統計処理を行い、「授業の分かりやすさ」「授業運営」「学習成果」「授業の難易度と進捗」に分類したカテゴリごとの改善必要度を明らかにした教員個人の結果表を各教員に配付し、教員にはアンケート結果に対する所見の提出を求めるなど、各教員の授業改善に資するアンケートとしている。

b 教員や学生への公開状況、方法等

これまでは各学部において独自に公表を行ってきたが、平成26年度からはアンケート結果の学部平均値等について、大学ホームページにて公表している。

(注) ・ 「① a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。
「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。(記入例参照)

(3) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見
(別紙のとおり)

② 自己点検・評価報告書

a 公表(予定)時期

- ・毎年度実施している各学科・専攻の自己点検・評価の結果は、平成26年5月に大学として一括で公表。(平成24年度の結果は、平成25年5月に公表済み)
- ・③の平成26年度の認証評価の受審のための「点検・評価報告書」については、平成27年3月に公表済。

b 公表方法

- ・上記のいずれもホームページにて公表
<http://www.toyo.ac.jp/site/university/ss.html>

③ 認証評価を受ける計画

- ・平成26年度に公益財団法人大学基準協会の大学評価(認証評価・機関別認証評価)を受審し、平成27年3月に「大学基準に適合している」との評価結果を受けている。評価結果は、大学基準協会及び本学のホームページにて公表済み。

(注) ・ 設置時の計画の変更(又は未実施)の有無に関わらず記入してください。
また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。
なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(4) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書

a ホームページに公表の有無 (有 ・ 無)

b 公表時期(未公表の場合は予定時期) (平成27年5月31日日)

(別紙) 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

開設から2年が経過した現在、食環境科学部の各学科の設置目的を達成すべく、次の取り組みを実施した。

教育・研究、特に人材育成に関しては、「設置の趣旨及び必要性」に掲げている教育目標「食、栄養、健康に関して、最新の生命科学、バイオテクノロジーをもとに深く学修して、食品機能科学や食と健康をつなぐ高度な専門的知識・技術を修得するとともに、高度な倫理観を身につけ、実社会で自ら判断し、自主的、主体的に問題解決していく能力、新しい分野を切り拓いていく能力などを身につけさせること」のうち、とりわけ「高度な倫理観を身につけること」を達成するため、「生命倫理」(春学期)「生命論」「生命哲学」(秋学期)を開講し、生命の尊さ、生と死、医療や新技術の技術革新に伴う個人的・社会的な諸問題を哲学の観点をもとに考えさせる力の涵養に努めた。

また、上記の科目で扱う「哲学」を通して、東洋大学の建学理念である「諸学の基礎は哲学にあり」に立脚した、基本的なものの見方・考え方の涵養にも寄与することは、「実社会で自ら判断し、自主的、主体的に問題解決していく能力、新しい分野を切り拓いていく能力などを身につける」ことに結びつくものである。

さらに、食環境科学部が新たに設置されたことから、約1800冊に及ぶ図書を整備したが、その一層の充実を図るとともに、電子ジャーナルも積極的に取り入れている。また、「学習支援室」を活用し、入学後の学力への不安・基礎力向上を希望する学生を対象に、助教をはじめとした専任教員による学習支援を行い、高等学校から大学の学習への円滑な移行に貢献している。とりわけ、健康栄養学科では、管理栄養士国家試験の受験資格が得られることから、基礎・応用の段階的な学力の涵養が重要であり、授業支援システムを用いた効果的な学力定着の方策を検討した結果、アクティブeラーニングが有効であるとの結論にいたり、平成26年度にACTIVE LMS(東洋大学独自)を開発・実装した。また、総合大学の利点を活かし、スポーツ栄養学を中心とした医科学支援の取組「アスリートヘルスシステム」を構築し、日々の学びを実践につなげている。

また、平成26年度に文部科学省「スーパーグローバル大学創成支援(グローバル化牽引型)」に採択されたことから、ネイティブスピーカーによる英会話講座開講等により国際化を積極的に推進している。

人材育成の大きな柱でもある、専任教員による大学生活と将来の進路を考えさせる「キャリアデザイン」科目の開講や教職支援室を設置し、国際的な社会人力の養成にも尽力している。

施設・設備等の整備計画においては、学部設置に伴う学生実験室不足、教員増による研究室・実験室不足が生じないよう事前に対応済みであり、問題は生じていない。

食環境科学部と生命科学部との学問領域を広く周知するため、平成25年に引き続き平成26年度も板倉キャンパスにおいて、地域企業、公的研究機関、近隣住民、在校生、入学予定者、高等学校の学生を対象に講演会を開催し、東洋大学の目指す教育研究について情報発信を行った。好評であったことから平成27年度も実施予定である。

これらの状況から、食環境科学部食環境科学科・健康栄養学科は設置の趣旨・目的の実現に向け着実に実行できていると判断している。今後とも設置の趣旨・目的の達成に向け、積極的に教育・研究活動を推進していく。